

議 事 録

説明会の名称	学校給食調理業務の委託に関する説明会（第2回）										
開催日時	令和6年2月10日（土） 午後10時03分～午前10時52分										
開催場所	小金井市役所第二庁舎 801会議室										
説明のため出席した者の職氏名	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">教育長</td> <td style="width: 50%;">大熊 雅士</td> </tr> <tr> <td>学校教育部長</td> <td>大津 雅利</td> </tr> <tr> <td>庶務課長</td> <td>鈴木 功</td> </tr> <tr> <td>学務課長</td> <td>本木 直明</td> </tr> <tr> <td>指導室長</td> <td>加藤 治紀</td> </tr> </table>	教育長	大熊 雅士	学校教育部長	大津 雅利	庶務課長	鈴木 功	学務課長	本木 直明	指導室長	加藤 治紀
教育長	大熊 雅士										
学校教育部長	大津 雅利										
庶務課長	鈴木 功										
学務課長	本木 直明										
指導室長	加藤 治紀										
説明会参加人数	3人										
説明会次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 教育長挨拶（大熊教育長） 2 学校給食調理業務の委託について（本木学務課長） 3 質疑応答（説明員） 										
説明会内容	別紙のとおり										
配布資料	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校給食調理業務の委託に関する説明会次第 2 学校給食調理業務の委託について 3 小金井市学校給食の指針 4 第3次明日の小金井教育プラン概要版 5 学校給食調理業務について 										

【学務課長による説明】

別紙のとおり

【質疑応答】

質問者 A

説明会の開催ありがとうございます。まずは申し上げたいのですが、今日市民の参加者が前回に引き続き少ないというのは、私も残念なところはあるんですが、考えてみますとこの少ないというのが、現場の皆さんの努力、事務方の皆さんの給食の質を維持する努力、そして私たち市民もこれまで色々な声をあげさせていただいた、そうした皆の努力で質を維持してきたということで、市民の皆さんもある程度満足しているということの結果かなと思っております。そういう意味では、私はこれは喜ぶべき結果かなと今日は受け止めております。

その上でなんですけども、私がお話を聞いていてこれからの事として少し心配だったのが、第三者評価をするということで、評価の仕方が大きく変わるのかなぁと思っています。今までの検証では学校給食に携わっている方が詳しく見てくださったということで、安心感があったと思うんですけど、今後は調理の専門家という意味では素晴らしい方に携わっていただくということですが、学校給食という意味では、ある意味スペシャリストというところがあると思うんですよ。作る料理が毎日変わるとか、大量調理であるとか、そこに実際に関わったことの無い方に見ていただくのは、私はちょっぴり不安がないことはないです。まあそれなりに検査項目を設けて見ていただくとは思いますが、その辺りがまあ、第一回でみんなの給食委員会でご説明があるとのことで聞いてみないと分かりませんが、その辺りがちょっぴり不安がありますよ、というのはお伝えしておきたいと思います。

学務課長

ご質問ありがとうございます。我々の努力の方もご指摘いただきありがとうございます。ご質問の第三者評価なんですけれども、確かに給食は非常にスペシャルな作業が多いとのご懸念かと思えます。今回は、高度な知識をもった専門家の方に行っていただく訳ですけども、いきなり市内14校全てを1年で回るのは現実的に難しい。その方も非常にお忙しいので、何年かかけて全校回るといった形をとりたいと考えております。では、その間評価を何もしないという訳にはまいりませんので、これまで我々が行ってきた評価というのは、専門の方々に行っていただけない学校はこの評価を毎年していくという形を考えております。その中で、これまで給食のスペシャルな存在としていた他校の栄養士は参加させていただきます。調理員がいなくなるということになりますので、そこには事業者のエリアマネージャー的な位置づけの方にセルフジャッジという形で参加していただこうと思っています。ただ、当然栄養士や学務課が入っていますので、セルフジャッジでお手盛り評価という訳にはまいりませんので、その方も入っていただいて真摯に改善等を図っていただきたいと思いますと考えております。その上で、調理について更に第三者の目ということで、当事者ではない調理師の立場から、我々もその高度な知識に至らない部分において、専門知識をご教示いただいて、改善に努めていきたいというふうに考えております。

質問者 A

セルフジャッジの件なんですけれども、そこに来ていただくエリアマネージャー的

な方というのは、委託校へ行きますよね、その委託校の調理会社の方にセルフジャッジしていただくことということですよ。

学務課長

そうですね、自分の所の学校を見ていただいて、もちろんエリアマネージャーというのは何校か地域の中で担当をもっていますので、小金井市だけでなく他の市も担当されておりましてけれども、改めて我々と一緒に見直してみましよう、とお願いしてまいりたいとこのように考えております。

質問者 A

なんか私、これまでそういったやり方を聞いたことがなかったんですけど、よその自治体でももうされていることなんですか。

学務課長

こういう検証というのは、やっている所が全国レベルで果たして何市あるかなというレベルでして、実は第三者評価や検証はかなり特別なことと思っています。全国で探しても、大きな政令市で保健所を持っている政令市が、保健所の方を呼んで自分たちでやっているというところはあるようです。例えばセルフジャッジとか、もちろん普段からエリアマネージャーは各校を回って指導している立場ではありますが、それを我々の中に入ってやってもらうお願いをしております。ですので、検証自体が全国的にあまり見られないこと、そして今回は調理師を養成するような教授陣のお力をお借りした第三者評価、断言するのは難しいのですが、おそらく全国初の取組になるのではないかと考えております。

質問者 A

意欲をもって取り組んでいただけることは、大変ありがたいと思っています。お話を伺っているだけだと、セルフジャッジというのが、ご自分でもお手盛りにならないようにとおっしゃっていたんですけども、一緒に評価される栄養士さんの評価が甘くなるようなことはないのかなとか、そういうことが無いように、私もここで良い悪いは言わないのですが、慎重に進めていただきたいと思います。

教育長

今後の組織図を出して。

(プレゼンテーション資料の「5 今後の組織体系」を投影)

直営校が無くなることの一番の懸念というのは、給食連絡協議会の中に直営校の調理員がいなくなるということで、直営校の調理員が他校の調理を見る検証の機会が無くなるということでした。そこで、色々考えてもらって、その代わりに第三者評価を作るということにしたんです。名前はまだ言えないですが、地元の全国的に有名な調理学校ができますので、その教授陣に評価をお願いしたり、まだ正確に決まっていなくてもそこでプロデュースする給食も教えていただくなど、小金井の給食を更に良くしていくことが今後できるのではないかと考えているところです。ですから、今まで直営校がある限り伝統が守られるという考えがあったんですけども、それを超える仕組みを今回作ったということだと思います。

質問者 A

教育長、ご説明ありがとうございます。なかなかお願いできない方に見えていただけるといのは大変ありがたいことと思います。私が思っている学校ですと、場所の契約期間があって、未来永劫ずっとそこにおられる訳ではないと聞いているのですが、その辺りについてはいかがですか。

教育長

分かりません。

質問者 A

将来的にですね、高度な専門家の方がよそに引き上げられたとしても、小金井の給食の質を向上させるために変わらずに続けていける仕組み、例えばその方々からチェックの見方を現場の皆さんが学んでいく、そういう機会になれば良いなと思います。そうした将来についても是非考えていただきたいと思います。

あとせっかくの機会ですので、皆さんお分かりかもしれないけれども、ということについてこれから申し上げますね。今日ネットで色々と調べていましたら、給食調理会社PRで、民間委託の会社を選ぶ際のポイントをまとめましたという記事が載ってまして、民間委託のメリットについて「労務管理を任せられる」「食材の管理や流通を任せられる」「人材の教育や採用、また欠員時の補充が安心」「調理専門の会社なので衛生管理や安全をお任せできる」というのが書いてあって、直接運営していたときと比べて委託費だけを見ると多少費用がかかるように見える場合もありますが、管理費や食材費などコストカットでき、より良い給食が提供でき、皆さんの時間も大幅に増やすことができる給食委託について一度検討してみませんか、といったことが書いてあります。

こういう記事を読みますと、確かにね、みんなの給食委員会でお話を聞きますと、給食の質を高めたい、子どもたちに喜ばれたいという調理業者の方の高い意欲を感じる場合も多いのですが、一方で自分たちのメリットを追求するという面や、あるいは自治体から見た本音のメリットという面もあるのかなと思ひまして、私はこれまで給食の民間委託に関して色々とお話してきたり活動してきましたけれども、これまで言ってきたようなことが強く出てしまうと、それは良くない方向に出てきてしまうなあという懸念が強くありました。今のところは、皆さんの努力によって、委託業者の方もプロポーザルでしっかり選んでいただくなどして、残食率などを見ても少ないところは委託業者が入っているなど結果が出ていますので、私も嬉しく思っています。しかし、よその自治体ではやっていないチェック体制をやったりとか、あと手作りという面倒な足かせをかけてまでやっている小金井、これをなんでこんな面倒くさいことをやっているんだとなってしまうと、少し目を離しますと委託の悪い面が出てきてしまうのかなあと思っています。色々ご面倒をおかけするとは思いますが、検証だったり、みんなの給食委員会だったり、面倒なことも多いと思うのですが、丁寧な運営をこれからも行っていただきたいと思います。以上です。

学校教育部長

民間委託のポイントの部分で「食材の」とありましたが、小金井市ではございませんので大丈夫です。あと、検証についてですが、予算が確定していませんが、令和6年度から残っている直営校から見ていただく予定です。頑張りますのでよろしくお願いいたします。